

中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.154

5/8 TOCOM石油スワップ開設 原油急落で [海外] ⇄ [国内] へ

□ 5/8 (月) ガソリンの各指標

輸入採算価格	Platts		4RIM	TOCOM	TOCOM Swap		JX先行指標
	海上	陸上	陸上	先物 (海上)	海上	陸上	陸上
48.9	48.8	49.9	49.2	48.9	47.7	48.6	51.0

- GWに原油大幅下落 ⇒ 国内石油製品はあまり下がらない ⇒ 海外高国内安が是正
- 輸入採算価格 ⇄ Platts海上 ⇄ TOCOM先物 (海上) > TOCOMスワップ (海上)
- 海陸格差はほぼ1円 (正常です)
- TOCOMスワップだけ安い。TOCOMウインドウのガソリンの成約よりも1円近く安いです。
- TOCOM石油スワップは、初日は手探り状態 ⇒ 今後に期待です。
- TOCOM石油スワップの上場 ⇒ 日本の石油市場が、世界標準に近づいた ⇒ 取引の活発化とヘッジ機能の拡大に期待します。

□ TOCOMスワップに期待すること

- ガソリンの決済指標はTOCOMウインドウで決まります。
⇒ 早期にTOCOM独自のシステムへ移行してください。(4月1日移行予定が遅れています)
- TOCOMウインドウの引渡を原則はTOCOMのクリアリングへの一本化: 例外は、TOCOMが承認した元売・商社等への与信。
- 現状ですと、架空成約での利益誘導が容易すぎます。

□ 海上取引の現状

- 業転の海上玉は
 - [1] 元売への売却
 - [2] 陸揚げして陸上での販売
 - [3] 輸出
 これらが考えられます。
- 現状の価格水準では [3] は不可ですから、[1] [2] のみです。
- 海陸格差1円ですと、商社はほとんど利益がありません。⇒ 供給は大幅減でも玉余りです。
- 元売への売却でも赤字だと推定します。⇒ 海上玉を右から左では利益が出ない状況になってます。

現状 沖縄の昨年3月31日 (一日) の変化が 本土では、3ヶ月間 (4月,5月,6月) で、ゆっくり確実に

□ 7月以降

- ぼんやりですが見えてきてます。 ●業転商社の廃業等が加速度的に進むと推定しています。
- TOCOM先物での調達は4月で対前年度比3倍だそうです。⇒ 今後さらに増えると予想しています。
- 完全PBは5月、6月が勝負です。

H29税制改正

類似業種比較法の算式の改正で 事業承継の適切な対策が急務に

□ 税制改正、国税庁の正式公表間近?

類似業種比較法の算式改定で、みなさんの会社が影響を受ける可能性があります。

- 古いSS業者: 土地の多額の含み益 + 多額の内部留保 ⇒ 時価純資産が多額
- 類似業種比較法で純資産の割合は [現状: 1/5] ⇒ [改正後: 1/3] ほぼ倍増します。
- 古いSS会社: 時価純資産は多額だが、利益は少ない ⇒ 大幅な株価上昇になる可能性が高いです。
- 事業承継をどうすべきかは、みなさん「考えてる」のですが… 適切な実行が急務となるかもしれません。私も対応を考えています。しばらくお待ちください。